

秀玉(しゅうぎょく)

登録番号：第1524号

登録年月日：昭和63年1月18日

登録者：農林水産省果樹試験場

(茨城県つくば市藤本2-1)

育成者：金戸橋夫 千葉 勉 町田 裕

志村 勲 小崎 格 岸本 修

清家金嗣 壽 和夫 大村三男

梶浦一郎 佐藤義彦 小園照雄

来歴：「菊水」と「幸水」の交雑実生

特 性

■栽培特性

樹勢は中である。枝の太さは中で節間長は比較的短く、長い紡錘形の大きい皮目が粗に分布する。成葉は楕円形で大きく、葉柄は短い。発芽期は「幸水」と同様に遅いが落葉は早く、「幸水」、「菊水」と同じ時期である。短果枝の着生は中で、その維持は容易な方であるが、「二十世紀」のようなしょうが芽にはなりにくい。蕾の先端部は淡いピンクを呈するが、開花後にはほとんど白色になる。花卉は「幸水」に似て長円形で大きく、その数は通常5枚であるが6枚以上の花も多数混在する。開花期は「二十世紀」とほぼ同じである。「幸水」とは交配不和合性を示す。収穫期は関東地方でおおむね9月上旬で、1樹当たりの収量は「幸水」、「二十世紀」程度であり、「豊水」よりは少ないと思われる。

黒斑病抵抗性で、えそ斑点病に対しては病徴非発現性である。圃場での胴枯病の自然発病は「幸水」に比べて少ないが、輪紋病に対しては十分な防除が必要である。

■果実特性

果実は扁円形であるが、よく肥大した果実ではやや腰高になる。果皮色は黄緑色で、果点はやや大きくて目立つ。無袋では「二十世紀」と同様にさびの発生が多い。果実の大きさは約400gで「豊水」と同程度であり、「幸水」、「二十世紀」より大果になる。果肉は白色で軟らかく、果汁糖度は「幸水」、「豊水」と同程度である。まれに蜜症が発生することがあるが、実用上問題になるほどではない。

■栽培上の留意点

果面にさびが発生しやすく、外観がやや劣る。無袋では「二十世紀」と同程度にさびが発生するが、6月中～下旬における大袋1回掛けによってさびの発生は相当に抑制され、外観を改善することができる。しかし小袋掛けを併用した場合にも「二十世紀」のような美しい外観には仕上がりにくく、小袋掛けの効果は小さい。年によって収穫前の落果がみられるが、その抑制には落果防止剤の散布が有効である。

収穫適期は果面全体の約20～40%の緑が黄色化し始めた頃と思われるが、適期より3～4日早採りした果実(果面全体がまだ緑色で黄色の部分がないものの、透明感が感じられるようになった果実)は、適期収穫の果実とほとんど同じ品質を示し、食味上わずかに硬さを感じる程度であるので、この方法により落果の被害を回避することも可能である。

排水不良地などでは石ナシやユズ肌が発生することがある。「二十世紀」や「長十郎」に比べると被害程度は軽いようであるが、発生の恐れのある土壤での栽培は避ける。

■地域適応性

これまでの試験成績によれば、わが国のナシ産地のほぼ全域に適応し、特性を発揮すると思われる。「幸水」、「豊水」と同様の優れた品質をもつ青ナシであり、品種構成に変化を持たせる品種として期待される。酸味が少ないために関東以北の地域でも品質の年次変動が少なく、「幸水」と「豊水」の間をつなぐ品種として位置付けられるが、特に観光農園や産地直売などの対面販売方式の経営に適すると思われる。(壽 和夫)